

いぶき

ふれあう笑顔

つながる未来



◎新あきた農人～新たなページを刻む生産者～	2
◎Close up Topics【第1回秋田市農業大賞表彰式】	3
◎特集【平成26年度から新たな農業・農村政策が始まります】	4
◎ニュース&トピックス	6
◎知って得する!営農ワンポイントアドバイス【稲作・カボチャ】	8
◎新あきたの農産物『ぶなしめじ』	10
◎ステキな笑顔いっぱい!!	11
◎健康対策・みんなの介護	12
◎クロスワードパズル・ふれあいメール	13
◎アクティブウーマン～活発に活動する女性部～	14
◎概況・理事会便り・編集後記・お知らせ	15

平成26年
2014.MAR.

3

Ibuki vol.180



のうと 新あきた 農人

～新たなページを刻む生産者～

ささき まさる
佐々木 勝さん(70)

■下新城笠岡地区

～美味しい米づくりの挑戦は、常に前向きな姿勢でいることが大切～



第1回JA新あきた 「美味しい米」コンクール『最優秀賞』

経営内容
稲作

JA新あきた管内の稲作生産者を対象として「美味しい米コンクール」を初めて開催し、出品者35名から1・2次審査を経て9名まで絞り込み、その中で佐々木さんを『最優秀賞』に選出しました。1月16日(木)に秋田県総合保健センターで開かれた最終審査会で、お米マイスター・消費者・高校生・関係団体など10名の審査員が米の外観、香り、味、粘り、硬さなどを実際に食べて、総合的に決定しました。



農業に取り組んだきっかけ

兼業農家として営んできましたが、会社を退職したのを機に専業農家として米づくりに専念しました。現在、農業に取りながら勉強しています。また、農業は助け合いが原点で、みんなからの助けがあるからこそ米づくりに励むことができると思います。勉強すること、何事にもチャレンジする前向きな考え方が私の農業に取り組む姿勢です。

農業への思い

農業を減らしたいという思いで、3年前から「あきたecoらいす」に挑戦しており、日々の水・除草等の管理を徹底しています。自分の目でしっかり生育状況を確認することが重要で、毎日圃場に出向き、手間をかけることで良い米ができると思っています。私も消費者の一人として、自分が食べて美味しいと思えるお米をつくりたい、みんなに喜ばれるお米をつくりたいと思いを込めて栽培に努めています。

今後の抱負

今後も基本に忠実に、常に今何をしなければいけないのか、何が必要なのかを考えながら、稲作の栽培技術向上に自分なりのペースで進歩していきたいです。栽培についての本を読んだり、講演を聞きながら勉強に励み、さらなる高品質米の栽培に取り組めます。あきたこまちのブランドを保つためにも各関係機関から生育管理の方法や適期刈取りの正確な情報を発信してもらい、今後もおいしいお米を消費者の皆さんに提供していきます。

第1回 秋田市農業大賞表彰式

秋田市、市農業委員会、JA新あきたなどで構成される秋田市農業大賞実行委員会は2月6日(木)、「第1回秋田市農業大賞表彰式」を開きました。秋田市農業大賞は、農業の技術向上や模範的な経営に取り組んでいる農家を表彰するもので、昨年度まで開催された「あきたファーマーズアワード」と「秋田市園芸生産振興大会」を1本化したものです。1回目となった本年度は4団体と4個人、農業こども絵画コンクール、市農政協力員永年勤続が表彰されました。表彰者の皆様をご紹介します。



主な受賞者(部門別・順不同・敬称略)

秋田市農業大賞表彰

◎秋田市農業大賞

有限会社 瀧田養鶏場

〔1列目左から2人目〕

(河辺地区)

◎秋田市農業賞

経営体部門(ファームマネジメント賞)

土地利用型の部

長岡宮農組合

〔1列目右から3人目〕

(下新城地区)

園芸生産の部

黒沢生産組合

〔1列目右から2人目〕

(太平地区)

奈良 隆逸

〔2列目左から2人目〕

(金足地区)

佐々木 正夫

〔2列目左から1人目〕

(雄和地区)

畜産の部

伊藤 錚悦

〔2列目左から3人目〕

(雄和地区)

◎若手農業者部門(ニューパワー賞)

加藤 淳

〔2列目右から4人目〕

(下新城地区)

◎地域活性化部門(アグリビジネス賞)

飯島ふれあい加工所

〔2列目右から3人目〕

(飯島地区)

有限会社 瀧田養鶏場

(河辺地区)



▲農業こども絵画コンクールで「最優秀賞」となった作品タイトル「七色の米」

農業こども絵画コンクール

◎最優秀賞

山本 千尋

◎優秀賞

大谷 紘希

特別賞 8名

秋田市農政協力員 永年勤続表彰

10年以上協力員としてご尽力いただいた方々

千葉 榮作

〔3列目左から2人目〕

(旭川丸木橋地区)

古川 耕二郎

〔3列目左から3人目〕

(旭川湯沢地区)

佐藤 昭一

〔3列目左から4人目〕

(牛島川尻柳原新田地区)

斉藤 善秀

〔3列目左から5人目〕

(仁井田二ツ屋地区)

保坂 初子

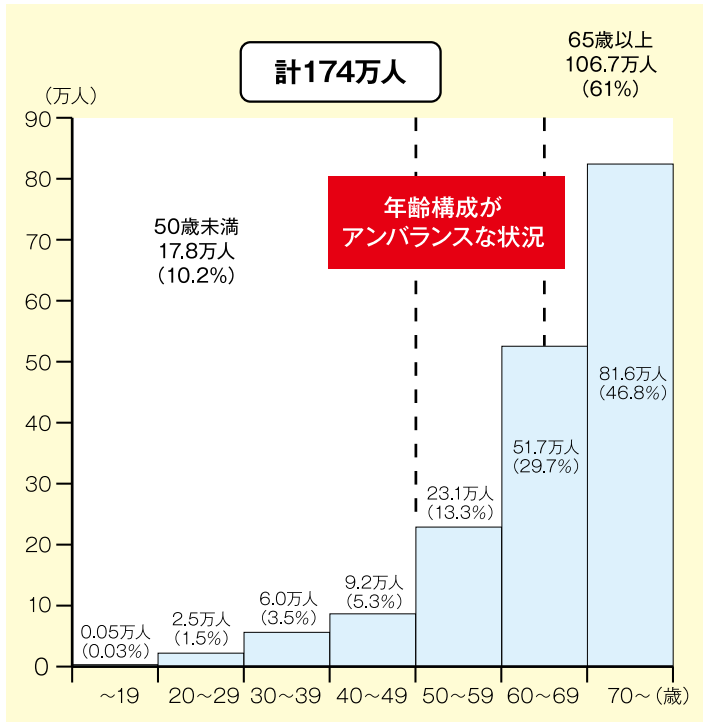
(飯島鳳田地区)

受賞された皆様におかれましては、誠にありがとうございます。今後も皆様の更なるご活躍をご期待申し上げます。

特 集

平成26年度から 新たな農業・農村政策が始まります!! ～背景と4つの改革を分析～

年齢階層別の基幹的農業従事者数(H25年)



資料：農林水産省「農業構造動態調査(概数)」(組替集計)
定義：「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、普段仕事として主に農業に従事している者をいう。

○65歳以上が61%、50歳未満は10%という著しくアンバランスな状況となっています。(H25年)

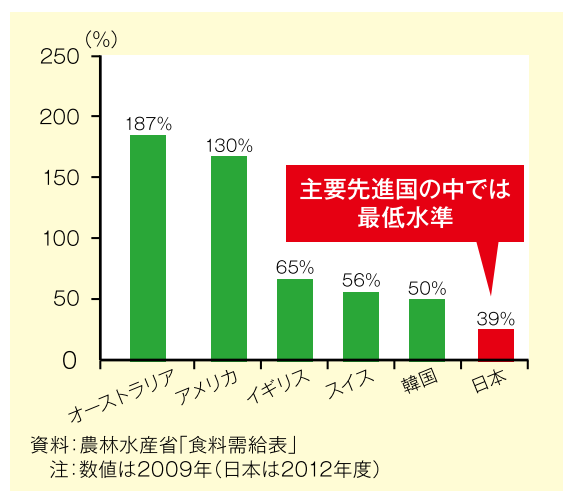
改革の背景

現在、我が国農業における担い手の農地利用は、全農地の約5割を占めています。農業者の高齢化、耕作放棄地の拡大などの課題が生じており、構造改革をさらに加速させていく必要があります。

このため、今般「農林水産業・地域の活力想像プラン」を取りまとめ、農業を足腰の強い産業としていくための政策(産業政策)と農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための政策(地域政策)を推進し、関係者が一体となって、課題の解決に向けて取り組みます。

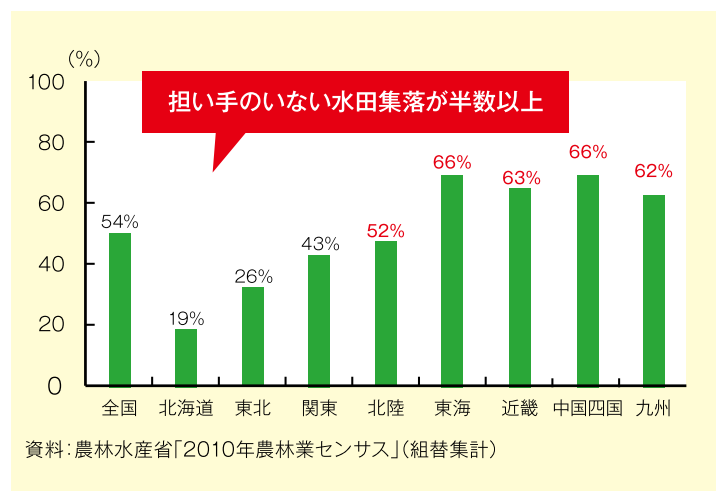
次の表が、背景から見られる課題です。

主要先進国の自給率



○日本の食料自給率は現在39%(カロリーベース)、この数字は主要先進国の中でも最低の水準です。今私たちが食べている食物の約6割は海外からの輸入に頼っています。

農業を主とする担い手のいない水田集落



○全国で担い手がいない水田集落が半数以上を占めており、そういった担い手のいない集落・地域では5～10年後には生産力が急激に落ちることが懸念されています。

改革の概要と制度 見直しのポイント

日本型直接支払制度の創設

地域内の農業者が共同で取り組む地域活動のコストに着目した新たな支払制度を創設

農地維持支払

新設

→「農地維持支払」として、地域資源の基礎的保全活動など多面的機能を支える共同活動に取り組む場合に支援する新たな支払を創設

資源向上支払

農地・水保全管理支払を組替え、名称を変更。
地域資源の質的向上を図る共同活動を支援

中山間地域等直接支払 環境保全型農業直接支援

基本的枠組みを維持しつつ継続

○このような対策の中でJA新あきたでは、

- 産地づくりによる農業生産活動と地域農業構造(仮称)の策定・提案
- 地域で開催される人・農地プラン会議への積極的な参加と地域営農ビジョン作成を含めた地域の取組みを支援
- 担い手の明確化と農産物生産販売計画などJA側からの提案
- 集落営農組織設立・認定農業者への支援
- 農用地移動情報の収集や農地中間管理機構との調整等による担い手への農地集積と交付金等への対応

激変が予想される経済・農業情勢の中で、農家組合員の農業所得向上を最優先課題として、JAが導く方策の検討を重ねて組合員の活動支援を行い、地域に根ざした身近なJAとして組合員・利用者の皆様から必要とされる魅力あるJAを目指してまいります。

さらに国が推進する改革について詳しい情報が集まり次第、皆様にお知らせしてまいります。

新設

農地中間管理機構

農地流動化を進める画期的な手法として、都道府県段階に公的な機関として農地中間管理機構を整備

機構の仕組み

- ①農地を借り受け
- ②必要な場合には大区画化等の条件整備を行った上で
- ③担い手に対して、その規模拡大や利用する農地の集約化に配慮して転貸することにより、地域の農地利用を最適化。

経営所得安定対策の見直し

畑作物の直接支払交付金

(ゲタ対策…畑作物の数量払い)

- 26年産は現行どおり実施
(予算措置で全ての販売農家・集落営農を対象に実施)
- 27年産からは法改正をした上で新しい対象者要件で実施
(認定農業者、集落営農および認定就農者とし規模要件は課さない)

米・畑作物の収入影響緩和対策

(ナラシ…「収入の減収の影響を緩和するための補填」のことです)

- 26年産は現行どおり実施
(別途、ナラシの非加入者に対する影響緩和対策を実施)
- 27年産からは法改正をした上で新しい対象者要件で実施
(認定農業者、集落営農および認定就農者とし規模要件は課さない)

米の直接支払交付金

- 26年産米から単価を7,500円/10aに削減
- 29年産米までの時限措置(30年産から廃止)

米価変動補填交付金

- 26年産米から廃止

水田フル活用と米政策の見直し

水田活用の直接支払交付金

- 26年産から飼料用米等への数量払いの導入
(上限値10.5万円)
- 地域の裁量で活用可能な産地交付金の充実など全体の拡充

米政策

- 水田活用の直接支払交付金の充実等を進める中で、定着状況を見ながら、5年後を目途に、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも、国が策定する需給見直し等を踏まえつつ生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産が行える状況になるよう、行政・生産者団体・現場が一体となって取り組む



▲臨時総会に臨む組合員の皆様(追分生活センター)

1. (農)秋田市北部地区カントリーエレベーター利用組合臨時総会を開催

農事組合法人秋田市北部地区カントリーエレベーター利用組合は1月21日(火)、臨時総会をJA新あきた追分生活センターで開きました。

総会には組合員229名のうち本人出席66名、書面議決書128名が出席しました。3議案が提出され、定款の一部変更、カントリーエレベーター建設計画、組合員の加入脱退が承認されました。同組合では平成26年9月頃から、現在の追分グリーンセンターの敷地内で建設の開始を予定しており、平成27年度の稼働に向けて計画が進められています。中泉松之助代表理事組合長は「スタートする時には稼働率が100%となるよう組合員の皆様からのご協力をお願いしたい。平成26年度から県からの指導、市からの財政支援をはじめJAと連携を密に取り組んでいきたい」と話しました。

2. 稲作技術や農業政策について学ぶ JA新あきた合同研修交流会

新あきた農業協同組合集落営農促進協議会と稲作部会は1月22日(水)、会員や各関係者を合わせた170名が参加する中、合同研修交流会を開きました。

全農秋田県本部米穀部 児玉徹参与が「気象変動に負けない稲作技術～美味しいあきたこまちの作り方～」をテーマに講演。また、農業政策の見直しのかかる中、東北農政局秋田地域センター農政推進グループの担当者が農地中間管理機構の創設、水田フル活用と米政策、経営所得安定対策関連の交付金の交付スケジュール、日本型直接支払制度等の概要を説明しました。

当日は、同協議会の役員改選も行われ、農事組合法人おおさわの佐々木治右エ門代表理事(河辺地区)が会長に選出されました。



▲稲作技術や農業の政策について学ぶ参加者(秋田ビューホテル)

3. 彩菜館運営協議会が栽培研修会を開催

彩菜館運営協議会は、1月29日(水)河辺地区のユフォーレで栽培研修会を行い、同協議会会員60名が参加しました。

研修会の講師に営農センターの長谷川清仁センター長が、昨年の各品目の野菜栽培についての反省点を踏まえ、次年度への品種選定や栽培技術について説明しました。

同協議会鎌田久子会長は、「このあと2・3月も会員の皆様にはがんばっていただきたい。今回学んだことを次年度の栽培につなげていきたい」と話してくれました。

彩菜館は現在6次産業化に向けた加工所を設置し、会員自ら惣菜やお菓子等を作って販売しております。

是非、皆様のお越しをお待ちしております。



▲長谷川センター長(左)が各品目の栽培方法を説明(ユフォーレ)



▲女子からはじめる農業改革についてパネルディスカッションを行う参加者(エリアなかいち)

4. 市民に6次産業化PR エリアなかいちでシンポジウム

秋田市は1月31日(金)、同市が重点政策の一つとしている「6次産業化」について市民に関心を深めてもらおうとシンポジウムを開きました。

山形県村山市で農業に取り組んでいる「山形ガールズ農場」で代表を務める菜穂子さん(活動名)が講演し、「女子からはじめる農業改革」をテーマに、自らの農業活動を通しての農業の可能性について話しました。また、講演を行った菜穂子さんとのパネルディスカッションも行われ、JA新あきた女性部佐々木早苗部長、彩菜館運営協議会鎌田久子会長、女性農業者の武藤恭子さん、高橋ますみさんがパネリストとなり、6次産業化の思いを語りました。

シンポジウムには、農業者や一般市民、高校生など約250人が出席しました。

5. 「堅義」の産子で「最優秀賞」!! 第9回秋田県有種雄牛枝肉共励会

秋田県肉牛生産振興協議会と(株)秋田県食肉流通公社は2月3日(月)、同公社で県有種雄牛枝肉共励会を開きました。

県内各地から23頭が出品され、管内からは3頭の出品がありました。その中で、上北手地区 高橋長寿氏が出品した「堅義」の産子(去勢)が「最優秀賞」に選ばれました。

枝肉重量は565.5^{キロ}、格付はA5等級、BMS(脂肪交雑を示す数字)は11で、「きめ」が細かく鮮紅色で「肉しまり」も良く、非常に良質な枝肉だったことから選出したと高い評価を得ました。

高橋氏は「堅義は義平福の兄で、是非、堅義も良い牛だと証明したかった。これで満足せず、更に向上心を持って取り組んでいきたい」と話してくれました。

近年、管内生産者の技術が高く評価されている中、更なる産地化の形成に取り組んでいくとともに、安全性の高い畜産物の生産拡大をJAでは推進してまいります。



▲「最優秀賞」を受賞した高橋長寿氏



▲栽培技術について学ぶ生産者(河辺支店)

6. 平成25年度カボチャ実績検討会 および栽培講習会

JA新あきたは2月4日(火)、平成25年度カボチャ実績検討会をJA新あきた河辺支店で開きました。

今年度、管内のカボチャ新規生産者は7名増加し、全体で生産者36名、栽培面積447a、販売数量35t、販売額約600万円となり昨年よりも増加しました。また、新たな取組みとして規格外を中心とした学校給食向けや加工用業者へ出荷しています。平成26年度は、お盆前出荷に向けた初期生育確保や、収量向上へ栽培指導の徹底等生産者の所得向上へ取組みを強化していきます。

当日は収量向上への栽培技術について、秋田地域振興局農林部農業振興普及課の担当者による研修会も行われました。



営農センター
市川 城多

今年の農作業はじめての一步 ～種子予措～

3月に入り、これから徐々に種子予措の準備を始められる方が多いと思います。それを踏まえ、近年の種子予措に関する状況と対策をご紹介します。

増加する「ばか苗病」と原因

近年、「ばか苗病」の発生が増加傾向にあり、昨年の秋田県病害虫防除所から発表された資料にも発病箱・発病地点率ともに年々増加と記されています。この傾向は当JA管内においても同様となっています。原因として考えられるのは、種子予措の不徹底や作業場所の衛生状況の悪化です。

また、「毎年同じ時期」の作業によって、その年の気象状況よりも日付を優先した作業を行った場合、薬剤の効果が発揮される水温よりも低温条件での種子消毒となり十分に効果が見られないことも考えられます。



▲本田で多発する「ばか苗」 見つけたら、抜き取り処理!

▼水温が重要!しっかりと確認



今年の種子予措の流れ

種子予措を行う作業場所は、「ばか苗病」の原因菌が付着している可能性があるため前年の稲わらや籾殻、米ぬかを確実に除去し、徹底した清掃を行ってからから作業に入ってください。前年に「ばか苗病」が発生していた場合は、苗箱の消毒も行いましょう。

無消毒種子の場合は、塩水選、種子消毒を行ってください。

消毒済み種子の場合はそのまま浸種し、最初の2日間は薬剤の効果を十分に得るため水のかけ流しや循環、交換は行わないようにしてください。特に、薬剤の効果を十分に得るために水温は10～15℃で維持するように心がけてください。その後は1～2日おきに水を交換し、酸素の供給を行うようにしてください。

催芽温度が低いと「ばか苗病」が多発しやすい条件となりますので、30～32℃で催芽を行いましょう。

▼主な種子消毒用薬剤

種子消毒	ヘルシード乳剤	ばか苗病・ごま葉枯病・いもち病	200倍 24時間種子浸漬
	スターナ水和剤	苗立枯病	200倍 24時間種子浸漬
	テクリードCフロアブル	苗立枯病・ばか苗病・ごま葉枯病・いもち病	200倍 24時間種子浸漬
苗箱消毒	イチバン	多くの菌に効果(特にリゾプス属菌)	500～1,000倍 瞬時浸漬または散布



カボチャの栽培は、水稲作業の合間に作業ができることから比較的に取り組みやすい野菜です。また、資材や労力も他品目より少なく、大規模生産も可能です。



営農センター
主任 保坂 薫

奨励品種	特性
くり將軍	○草勢が強く、早生着果もよく多収 ○果重2kg前後の濃緑編形 ○果肉が厚く、濃橙黄色、食味抜群

4月	5月	6月	7月	8月
○	○		□	□
←育苗期防除→	追肥	追肥	病害虫防除	
開花・交配時期				

○ 播種
● 定植
□ 収穫

育苗

●床土の準備

10.5cmのポリ鉢1鉢当たり0.5～0.6㎡の床土を必要とします。ph6.5、EC0.6～0.8(施肥後)程度の土を使用します。

◆播種

POINT

催芽処理

27℃前後の暖かいお湯に入れたタオルをしぼり種子を並べます。タオルを折りたたんでビニール袋に入れ、ストーブの横など暖かいところに一昼夜置き、ゆっくり吸水させます。

ポリ鉢に直播きする場合は、1鉢当たり1～2粒播きし、覆土を1cm位かけ、軽く鎮圧し、床土の地温程度のぬるま湯を灌水します。この後、新聞紙やポリをかけ保温し乾燥を防ぎます。

◆播種後の管理

地温を25～30℃に保ち、一斉に発芽させます。発芽後は、直ちに新聞紙やポリを除去し、徐々に地温を下げ乾燥ぎみに管理して、徒長を防ぎます。

育苗期温度管理

発芽～本葉抽出			
発芽までの気温	地温	気温	
		昼	夜
25～30℃	20～23℃	22～25℃	18～20℃
育苗中期			
地温		気温	
		昼	夜
20～22℃		20～25℃	17～20℃
育苗後期			
地温		気温	
		昼	夜
18～20℃		20～25℃	16～18℃

水分管理は、土の表面が白くなったら灌水します。灌水は、朝に行い夕方に床土が乾くくらいの量が適当です。

定植

播種後、25～30日を目安に本葉3～4枚程度の若苗での定植に努めましょう。

畑の選定・・・排水の良い圃場を選び、畝間は排水しないように心がけましょう。

畑の準備・・・有機物を施す事で、収穫時まで草勢が維持でき、病害の発病を軽減できます。

土壌改良・・・最適土壌酸度・・・ph5.6～6.8

施肥・・・カボチャの根は広く分布するため、肥料は全面施用しましょう。

畝立て・・・定植1週間前には、マルチで地温を上げておきます。

定植・・・株間を45cm程度とし、深植えは禁物です。

施肥例(10a当たり)

	肥料名	施肥量
土壌改良材	完熟堆肥	2,000kg
	苦土石灰	120kg
	過磷酸	40kg
基肥	有機入りやさい複合	60kg
追肥	磷硝安加里S646	30kg

管理

仕立て方・・・早期出荷をする場合は、親づる1本仕立てが基本となります。

追肥・・・1つる2果取りを目標に2kg以上の大果を生産するには、2番果の確実な着果と、1番果の肥大の為に追肥が重要となります。(つるがマルチから伸びたら追肥のタイミング)

中耕・除草・・・マルチ間の除草対策として、トラクターで除草を兼ねた中耕を行いましょう。

整枝・誘引・・・風の強い場所では、つるを固定する。(ランナークリップ・ペーパーピン)

交配・・・葉の直径30cmを目安に人工交配を行います。晴れた日の早朝に行い確実に着果させましょう。(目標節位8～10節前後)

着果後・・・マット敷きは、着果後20日頃を目安に行います。

収穫

収穫時期は、着果後

50日頃で、果梗にコルク状のヒビ割れが、5～6本以上入った頃が適期です。その後、風通しの良い日陰で風乾します。(5～10日程度)

【病害虫対策】

病害名	薬剤名	希釈倍率	使用回数	使用時期
アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤	2g/株	1回	定植時
	アグロスリン乳剤	2,000倍	5回	収穫前日
疫病	ジマンダイセン水和剤	600倍	2回	収穫前30日
うどん粉病	ダコニール1000	1,000倍	3回	収穫7日前
細菌性斑点病	ストロビーフロアブル	3,000倍	3回	収穫前日
	コサイド3000	2,000倍	—	—

新あきたの“農産物”『ぶなしめじ』

シメジ科シロタモギタケ属のきのこで、主にブナの木に生えることからその名がつけました。しめじは「占地、湿地」と書き、一面にたくさん生える「占める」と湿地に生える「湿る」の2つの意味を表します。クセのない味わいで独特の歯ごたえがあり、炒め物や鍋物、料理の付け合せ等、和洋中と様々な料理に合います。

管内では、下新城地区で栽培されています。

栄・養・素

カルシウムの吸収率を上げるビタミンDの他、ビタミンB1、B2、ナイアシンなどの栄養があります。エネルギーが低く食物繊維も多く含まれています。動脈硬化や肥満の予防に最適で、免疫力を高め発ガン物質を抑える作用があると期待もされています。また、リジンは日本人に不足がちな必須アミノ酸の一種とも言われているので、上手に摂取しましょう。

突撃生産現場

下新城地区

【仲山 重孝さん】

菌床栽培を行うにあたって、特に注意している点は菌を仕込んである時の掃除で、雑菌など他の菌が入ってこないように管理を徹底しています。また、温度や湿度の管理にも気を使いながら栽培をしています。地元で消費してもらえることが「喜び」であり、衛生面・安全性を重要視しながら、新鮮で良質なぶなしめじを出荷しています。現在は、学校給食をはじめ直売所やインショップへ出荷しています。



【「寝ても覚めてもぶなしめじのことを考えて栽培に努めています」と話す仲山さんご夫妻。】

学校給食

秋田市立
広面小学校

【主任学校栄養士 小林 真貴子 先生】

本校では10月からぶなしめじを使わせていただいています。給食では、ぶなしめじを「みそ汁」のような汁物で使うほか、煮物、炒め物、スパゲティの具材などにも使用しています。きのこが苦手な子供もいますが、ぶなしめじは食べられる子供が多いようです。これからも作った方が見える地元の食材をできるだけ多く使用して、給食を提供していきたいと思っています。

【広面小学校の
児童の皆さん】



皆さんぶなしめじ好きですか〜!?

大好きで〜す!!



献立

鮭チーズフライ、
こんぶのきんぴら、
みそ汁(ぶなしめじ)、
麦ごはん、牛乳

「JA新あきた」管内から ステキな笑顔いっぱい!!

Enjoy
いきいき
ライフ



■豊岩・豊巻地区

◎五十嵐 祐治(ゆうじ)さん(87歳)
ウタ さん(80歳)

五十嵐さんご夫妻は昭和26年にご結婚され、今年で63年目を迎えられる。現在は、二人暮らしでお互いに感謝の気持ちと家族の支えのある中、元気に生活しています。

栗や柿、梨などの果樹生産と畑の農作業に取り組みながら、1ヶ月に1回の豊岩地区のデイサービスと老人クラブの集いに参加し、仲間とのコミュニケーションを楽しみ、人と人とのふれあいが元気の秘訣となっています。天気の良い時は自転車で出かけ、体を動かすことや食事などで健康に気をつけています。

一年に2回は二人の娘さんと3人で旅行に出かけ、また週二回は買い物へ連れて行ってもらいながら楽しんでいるそうです。

祐治さんは「おいしい料理を作ってくれてありがたい。健康に気を使ってくれます。」と話し、ウタさんは「私の体を気遣い家の周りのことをお父さんがしてくれているから助かる。」とお互い思い合っている気持ちを話してくれました。



JA職員活躍中!!

当組合から3名の職員が表彰!!

訪問活動を積極的に展開し、農家組合員との絆を深め、またJA農機担当者の年間の活動成果を表彰することを目的とした「JA農業機械パワーアップ運動成果発表大会」が1月25日(土)に秋田キャッスルホテルで開催されました。

- 佐藤 肇 センター長補佐
【やまびこ賞】最優秀賞
- 伊藤 俊太郎 職員
【サタケ賞】優秀賞
【静岡賞】敢闘賞
- 倉部 健一 職員
【三菱農機賞】敢闘賞



更なる推進活動と技術向上に取り組み、組合員・ご利用者の皆様から信頼される農機具センターを目指し、日々の活動に努めてまいりますので、お困りごと・ご相談等がありましたら、いつでもお気軽にお声がけください。

第1回JAバンクあきたアカデミー窓口コンテスト開催

農林中央金庫秋田支店が窓口担当者のセールススキルアップと窓口業務に必要な知識の習得を図ることを目的として、初めて開催しました。

県内15JAからテラー(貯金窓口)役・上司役の2人1チームで参加。「新規顧客口座開設に伴うJAカード(一体型)」「年金新規獲得」「年金受取口座の指定替え」の3つの中から抽選で題材を決定し、6分以内でお客様からの情報収集やニーズを把握し、的確なアプローチに挑戦しました。

当組合から本店七島英幸支店長と鎌田姉李花職員が出演し、15チーム中、4位と健闘しました。出演した鎌田職員は「気持ちの良い対応ができたと思います。今後も日々の業務の中で、接客技術の能力を磨いていきたいです。」と話してくれました。



▲年金新規獲得の題材でコンテストに挑戦する鎌田職員

新あきたオススメ
知って得する
健康対策

「かかりつけ医」を持ちましょう

みなさんは「かかりつけ医」をお持ちでしょうか？

日頃から健康相談をしたり「風邪かな？」「ちょっと調子が良くないな？」など日常的な病気の治療を行ってくれる地域の身近なお医者さんのことを「かかりつけ医」と呼んでいます。適切な医療を望むとき「かかりつけ医」の診療や相談は、大変心強いものです。個人で大病院を訪れる前に「かかりつけ医」へ相談し、意識を持って取り組むことが、より効果の高い治療へとつながると言われています。

*「かかりつけ医」を選ぶポイント

- ① 近くにいる、身近で気軽な相談が可能。
- ② どんな病気でも真っ先に相談でき、家族みんなの健康に応じた診療が可能。
- ③ 患者の疑問に率直に丁寧に答え、納得のいく治療方針を検討し、地域の医療・保健・福祉機関への仲介を担ってくれる。
- ④ 病状に応じてふさわしい医療機関、医師を紹介してくれる。
- ⑤ 健康管理から教育など、生活習慣病などの生活改善まで指導してくれる。

⑥ 在宅で闘病している場合は、訪問診療をしてくれる。

*「かかりつけ医」から紹介され総合病院を受診した場合のメリット

- ① 何科を受診すればいいかわ迷わなくても済む。
- ② 事前の予約も可能で、待ち時間が短縮する。
- ③ 紹介状と検査結果を持参させてくれるので、検査が重複しない。
- ④ 紹介され検査や治療が終了すると、病院から「かかりつけ医」に治療経過を報告するので、その後の「かかりつけ医」での治療に役立てられる。
- ⑤ 大がん（胃・大腸・肝臓・肺・乳）地域医療連携が可能。手術などの初期診療した治療病院を退院後、地域の医療機関に「かかりつけ医」になって頂き、病院と共同で患者の治療にあたる連携が可能。
- ⑥ 急患の場合「かかりつけ医」が病棟の連携室や救急と連絡を取り合い、速やかに救急外来や医師へ連絡し、来院や搬送の案内が可能。

当院は急性期病院として、緊急・重症な状態にある患者さんに対し、高度で専門的な医療を24時間体制で提



秋田組合総合病院
地域医療連携室看護師長
かまだ れいこ
鎌田 玲子 先生

供できるよう体制整備しています。また近隣地域にある長期療養できる病院「かかりつけ医」（医院・クリニック・診療所）、福祉施設と連携しながら、それぞれの役割に応じた医療を地域全体ですすめ、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう連携を深めるように努めています。

また地域医療連携室では「紹介患者様が安心して診療を受けられるよう」橋渡し役として機能の充実を図っていきたく考えています。

「かかりつけ医」は、専門的な検査や治療が必要な場合には専門病院へ紹介していただき、病院での治療が終了し、病状が安定すると、病院から「かかりつけ医」へ治療経過を報告し、その後のサポートをして頂いています。その後のサポートをできる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。病気になってからではなく、普段から地域で行われている健康診断などに積極的に参加し、自分にあった「かかりつけ医」を探してみましょう。



♥スマイルライフ&ハートフル介護♥ ～笑顔で暮らすために～ 悩みごとは一人で抱え込まないのが鉄則！

一人で悩んでいるとストレスがたまって、心身のバランスをくずしてしまいます。解消法のひとつは「愚痴を言う」です。

「愚痴」と言うと聞こえが悪いと思われるがちですが、そんなことはありません。

今まで誰かに「愚痴」を言ったらすっきりした経験はありませんか？

話を聞いてもらうことで、自分自身の気持ちの整理ができたり、気分転換が図られます。

もし日々の生活で悩んだときは、身近なケアマネージャーや介護職員などに話してみてください。

介護される方も介護をしている方も、とにかく一人で抱え込まないようにしましょう。

私たちは、皆さんを支えています！



ホームヘルパー
募集中

介護の
お問い合わせは

JA新あきた高齢者福祉事業所 TEL:018-869-9300

ふれあいメール

2月のテーマ『好きな色や季節』

幼い頃の記憶。千秋公園の夜の観桜会は、お堀のあたりからズラリと並ぶ屋台の電球がオレンジ色でユラユラ揺れ、桜とともに幻想的でした。今年も父を連れ、その頃の話をしなから、ゆっくりお花見をしようと思っています。
(茨島 Mさん 50代)

身に着けるものなら「紫」です。一番自分に似合う気がします。季節なら緑豊かな「春」です。木々が一斉に芽吹き一面に広がる様は、生命の躍動感にあふれます。この頃になると緑の景色を追って深山に山菜採りに出かけます。
(飯島 Hさん 60代)

私が好きな色は「あかね色」。朝日が昇る前の空の陽光は、その日一日の活力を与えてくれる。そして、夕日が沈む時のあかね色は穏やかに日が暮れていく安堵の色となります。
(下新城 Nさん 60代)

私の好きな色は「ピンク」。季節は「春」です。寒さが厳しい冬もすぎ、春になると日の光とともに野山の木々も芽吹き始めます。淡いピンク色が美しい山桜を見てると心も穏やかになり活力が出ます。そんな春が大好きで待ち遠しいです。春よ～早くきてください。
(土崎 Fさん 60代)

好きな色は「青」です。抜けるような青い空の色が好きで、子供の頃は秋が好きでした。現在は次に来る寒い冬を考えるとあまり秋の季節は好きではなくなってしまいましたが・・・マリンブルー、スカイブルー、ラピスラズリ、群青色とかの青が好きです。
(雄和 Yさん 50代)

春・夏・秋・冬と四季を感じることができる秋田が好きです。この季節、雪が多くても離れられない、一生暮らしていくんでしょうね。
(雄和 Iさん 60代)

欲張りのようですが、2種類です。田んぼの春の「グリーン」と実りの秋の「黄金色」は清々しさと、今年もおいしい米が食べれる安心感が合って大好きです。
(仁井田 Mさん 50代)

■今月のテーマは『人生においての刺激は』

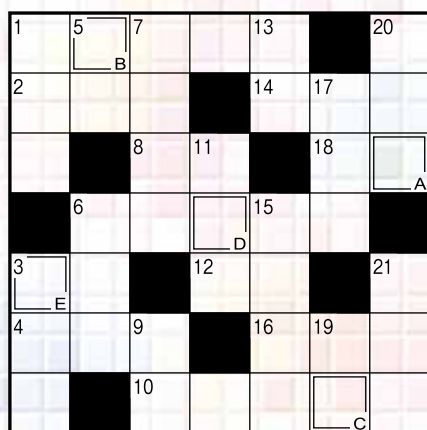
人生において様々な人物や出来事等で刺激を受けたと思いますが皆様にとって刺激を受けた人や出来事など思い出やその後どのように変わったかなど、どんなことでも聞かせください。掲載させていただいた方の中から、抽選で3名の方へ粗品を進呈いたします！皆さまからのたくさんのお便りお待ちしております。



頭の体操 クロスワードパズル

Q. 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

●出題／ニコリ



■タテのカギ

- 1・・・神棚に供える緑色の葉
- 3・・・前の反対側
- 5・・・梅干しを見ると飲む人も
- 6・・・親鳥が温めるもの
- 7・・・端っこではありません
- 9・・・「駅から——3分だよ」「近いね」
- 11・・・旧暦3月の異称
- 13・・・3月3日は——の節句
- 15・・・英語で東はイースト、西は——
- 17・・・大正の一つ前
- 19・・・日本では多くの人の利き手はこちら
- 20・・・H2OやCO2のO
- 21・・・洋装の花嫁がお色直しで替えるもの

■ヨコのカギ

- 1・・・大学芋や芋けんぴの材料
- 2・・・リュックサックもポシェットもこの仲間
- 3・・・平成26年のえとは
- 4・・・職場に行ってこなすもの
- 6・・・武士は食わねど——
- 8・・・工具や農機具をしまっておく建物
- 10・・・漢字では時鳥、不如帰などを書く鳥
- 12・・・一生で一番高い買い物だといわれます
- 14・・・——豆腐と絹ごし豆腐
- 16・・・春の小川のほとりに咲きそうな花
- 18・・・海岸で——釣りを楽しむ

★当選者

ピ	シ	ヨ	ク	カ	シ
キ	メ	テ	ヤ	シ	ヤ
ミ	サ	イ	エ	ン	ン
タ	ク	シ	リ	カ	ケ
ロ	シ	ア	オ	ン	ン
ウ	ト	ウ	ニ	ユ	ウ

佐藤 裕 三さん (上新城)
森元 ひとみさん (仁井田)
伊藤 正 勝さん (河辺)
おめでとうございます

【2月号の答え】
リッシュン

▼クイズにご応募ください▼

【プレゼント】正解者の中から抽選で賞品を差しあげます。
【応募方法】ハガキにクイズの答えと住所・年齢及び今月のテーマについて一言書いて送ってください。
【締め切り】平成26年3月13日(木)
◎応募は右記まで。

案内板

官製ハガキの裏にクイズの答えと上記の今月のテーマについてご記入の上、お送りください。多数の応募お待ちしております。

●FAXから 018-832-6622
●E-メールから kikaku-4@ja-shinakita.or.jp
JA新あきた管理部総務課 広報係まで

答え
住所
氏名
年齢
今月のテーマについて一言お書きください。

50 010-0877
秋田県秋田留守2-140
JA新あきた
管理部総務課
広報係

※JAに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢・職業などの情報は広報活動以外で使用することはありません。

アクティブウーマン ~活発に活動する女性部~

第7期 JA新あきた

かがやき女性塾閉講式

今年度のかがやき女性塾閉講式が1月21日(火)にイヤタカで行われ、参加した40名の塾生に修了証書が授与されました。また、全講座へ出席した21名の部員には皆勤賞も併せて授与されました。

佐々木早苗部長は「来年度もJAのご指導を頂きながら更に良い企画を考え、JAについて理解すること、より事業に反映できるよう学習を重ねていきたい。参加されていない女性部員の方からも是非参加していただきたい」と話されました。



小学生に米を

使った料理を伝授

女性部河辺地区の部員3名が1月24日(金)、秋田市立河辺小学校に「米」を使った調理実習に講師として訪れました。

5年生27名の児童が3人1組に分かれあきたこまちとAコープ商品を使用し、さつまいもと黒豆の炊き込みご飯と米粉入りホットケーキに挑戦しました。

児童からは「ご飯は甘くて美味しくみんなで楽しく調理できました。家でも作ってみたいです。」と話してくれました。



再生紙活用

バック作り

女性部雄和地区は1月25日(土)にJA新あきた雄和支店で冬期学級を開き、お米などの穀物の袋や牛乳パックの再生紙を使用したエコクラフトバックづくりに挑戦しました。雄和地区の伊藤智香子さんを講師に、寸法を測り編み込みながら作製しました。伊藤さんは「紙ではあるが壊れにくくかなり丈夫。また環境に優しく、買い物の時などで活用して欲しい。」と話しました。



こめ油を使った

ヘルシー料理4品に挑戦



女性部北地区は2月3日(月)、北都市民サービセンタでこめ油簡単レシピに挑戦しました。部員21名が「ネギの炊き込みご飯」「揚げだし豆腐」「ネギの味噌汁(食べるラー油入り)」「米粉入りホットケーキミックスを使ったりんごのフリッター」の4品を手際よく調理。講師の築野食品工業(株)大塚尚子さんは、「こめ油はご飯に入れるとふくらみ揚げ、豆腐を揚げるときは余分な粉をつけなければ油は跳ねないなど、きれいに何度でも使える大変便利な油です」と話してくれました。



■JA新あきたのあゆみ〈1月〉

1月6日…仕事始め	(全部署)
9日…女性部追分地区新春の集い	(追分生活センター)
10日…蔵開き	(和田低温倉庫)
” 金庫開き	(JA新あきた会館)
” 平成25年度17歳の6次産業化プロジェクト商品発表会	(秋田キャッスルホテル)
16日…第1回「美味しい米」コンクール最終審査会	(秋田県総合保健センター)
18日…平成25年度第1回JAバンクあきたアカデミー窓口コンテスト	(秋田テルサ)
20日…管理・金融・指導・経済合同委員会	(JA新あきた会館)
21日…かがやき女性塾開講式	(イヤタカ)
” …(農)秋田市北部地区CE利用組合臨時総会	(追分生活センター)
22日…稲作部会総会	(秋田ビューホテル)
” …集落営農促進協議会、稲作部会合同研修交流会	(”)
28日…第10回理事会	(JA新あきた会館)
” …コンプライアンス委員会	(”)
31日…秋田市6次産業化シンポジウム	(エリアなかいち)

■新あきたの概況〈1月末現在〉

組合員数／(正)7,374人 (准)9,261人

貯金	1,035億9,171万円
貸付金	305億6,594万円
共済保有高	2,661億1,882万円
購買品供給高	18億 520万円
販売高	48億2,035万円
出資金	35億3,638万円

■第11回理事会

平成25年度第11回理事会が平成26年1月28日(火)に開催され、次の事項について審議されました。

議案第1号	大口信用供与先への供与について
議案第2号	理事と組合との契約に関する承認について
議案第3号	秋田市農業経営安定資金の貸出しについて
議案第4号	平成26年度事業計画(案)について
議案第5号	平成26年度固定資産取得計画(案)について
議案第6号	営農経済部業務分担の変更について
議案第7号	新規正組合員加入に伴う対応(案)について
議案第8号	「退職給付会計制度取扱規程」の廃止および「経理規程」の一部改正について

■人事

◎依願退職(1月31日付)

追分支店 吉田 沙織

編集後記

平成25年度の広報誌の発行も最後となりました。平成26年度もまた組合員の皆様から愛され親しまれるより良い広報誌づくりを目指します。平成25年度において、ご協力いただいた皆様へ感謝申しあげますとともに、平成26年度も皆様から愛読いただければ幸いです(≧≦) (飯島)

組合員資格確認のお願い

当JA定款第14条により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動があった場合は、その旨を届け出てもらうことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更又は修正があった場合には当JA支店窓口へお申し出いただきますようお願いいたします。

当JAの組合員資格

1 正組合員資格(次のいずれかに該当される方)

- 5アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であり、その住所又はその経営に係る土地又は施設が当JAの地区内(※)にある。
- 1年のうち50日以上農業に従事する個人であり、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設が当JAの地区内(※)にある。
- 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。)であり、その事務所又はその経営に係る土地が当JAの地区内(※)にある。

※当JAの地区…秋田市、潟上市天王字追分、潟上市天王字北野、潟上市昭和乱橋、潟上市昭和八丁目、潟上市昭和久保字北野区域

2 准組合員資格(次のいずれかに該当される方)

- 当JAの地区内(※)に住所を有する個人である。
- 当JAから(1)資金の借入(2)貯金・定期積金の預入(3)農業生産資材・生活物資の購入(4)共済加入のいずれかを1年以上継続して利用している当JAの地区内(※)に勤務地を有する個人である。
- 当JAから(1)農業生産資材・生活物資の購入(2)生産する物資の運搬、加工、貯蔵又は販売(3)特定農地貸付のいずれかを1年以上継続して利用している当JAの地区外に住所を有する個人である。
- 農事組合法人等で当JAの地区内(※)に住所を有する組合員又は勤務地を有する組合員が主たる構成員となっている団体である。

なお、現在の組合員資格については組合加入時に発行された「組合員加入承諾書」「持分譲渡承諾書」に記載されている組合員資格でご確認ください。ご不明な点につきましては、最寄りの当JA支店までお問い合わせください。



雄和地区の買い物にお困りの方へ

「お買い物 無料送迎車」運行のお知らせ



当社は、平成25年12月のAコープゆうわ店閉店に伴い、雄和エリアを中心として、Aコープ大正寺店までの「お買い物 無料送迎車」の運行を1月20日より開始しております。

ご不明な点やご要望(コース等)がございましたら、下記のお問い合わせ先へご連絡くださるようお願いいたします。

※祝日は運行いたしません。

月・木の各コース

①平尾鳥②萱ヶ沢、碓田③水沢

火・金の各コース

①種沢②戸賀沢、女米木③中ノ沢④高野、銅屋

お問い合わせ先:(株)JA新あきたライフサービス Aコープ大正寺店 TEL/018-887-2236
安全!安心!新鮮!毎日のお買い物はAコープへ FAX/018-887-2120

HOT で お得 な情報を皆様へ!!

マイホームの購入、住宅ローンのお借換え、
オートローン・教育ローンなど幅広くサポートします!!

JAローン 相談会

開催
日時

3/8土9日 午前9時 ▶ 午後3時

開催
場所

JA新あきた全支店

この他にも…カードローンやフリーローン、農業機械のご購入に関するご相談も承っております。(平成26年2月15日現在)

「JAとのお取引はこれから」というお客様もお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)
詳しくは、JA新あきた金融推進課(TEL:018-832-6617)またはお近くの各支店まで。
当JAホームページ(<http://www.ja-shinakita.or.jp>)でもご確認いただけます。

住 宅

マイホームはもちろん
リフォームをお考えの方も。

3年固定金利
(保証料別)

年0.7%~

オート

マイカーの購入資金から
車検・修理にも幅広く対応します。

変動金利
(保証料込)

年2.1%2.7%

教 育

入学金・授業料などお子様の
教育に必要な資金に。

変動金利
(保証料込)

年2.1%2.7%

農業機械購入資金

JA新あきたより農業機械を
購入されるお客様へ

変動金利
(保証料別)

年1.00%~

壮大な大自然が創る **世界遺産** を満喫する

ニュージーランド 6日間

世界遺産が美しく映える南半球の秋、
魅力あふれるニュージーランドを
ゆったりと観光しよう。

先住民マオリとヨーロッパの伝統が融合した独特の文化。

美しく雄大な世界遺産の大自然などニュージーランドの魅力は尽きません。

南半球が紅葉を迎えるベストシーズンツアーです。

マウントクック国立公園(イメージ)

旅行期日

①平成26年6月12日(木) ②平成26年6月25日(水)

旅行代金(大人2名様1室利用:お一人様)

268,000円 ※一人部屋追加代金35,000円(4泊分)

旅行代金に含まれないもの

- ①渡航手続料 4,320円 ②現地空港諸税 約4,260円
- ③成田空港使用料 2,610円
- ④燃油サーチャージ 約47,000円※変動あり
- ⑤海外任意保険 (平成26年2月現在)

募集人員 30名様(最少催行人員15名様)

利用予定航空会社 ニュージーランド航空

利用予定ホテル

〈クライストチャーチ〉シャトーオンザパークまたは同等クラス
〈オークランド〉リッジホテルまたは同等クラス

食事条件 朝食3回、昼食4回、夕食4回(機内食除く)

添乗員 全行程同行致します

募集締切 平成26年4月25日(金)※定員になり次第締め切ります。

専用パンフレットをお取り寄せの上、お申し込みください。

〈旅行企画・実施〉

観光庁長官登録旅行業第939号 (社)日本旅行業協会正会員



株式会社 農協観光
秋田支店

ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

〒010-0976 秋田県秋田市八橋南二丁目10-16 (秋田県JAビル1F)

TEL/018-864-2588 (代)

FAX/018-864-2590

総合旅行業務取扱管理者:石岡 知紀・高松 国男

総合(国内)旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱者にお尋ねください。

〈お問い合わせ・資料請求先〉

観光庁長官登録旅行業第939号

株式会社 農協観光 代理業

秋田県知事登録旅行業者代理業第91号

JA新あきた旅行センター

〒010-0877 秋田県秋田市千秋矢留町2-40

☎018-837-1151 総合旅行業務取扱管理者:佐藤 祐幸

ふれあう笑顔 つながる未来

いぶき

JA新あきた広報誌
3月号【vol.180】

■発行:新あきた農業協同組合 〒010-0877 秋田市千秋矢留町2-40 ☎018-832-6611 (代)
●E-mail kikaku-4@ja-shinakita.or.jp ●URL <http://www.ja-shinakita.or.jp/>
●編集/管理部 総務課 ●印刷/(株)全農ビジネスサポート 秋田支店

